

「市長と語る会」特集号

令和5年8月26日 小和田コミセンにて開催



会長よりご挨拶

今年度から会長に就任しました雫石です。(菱沼小和田自治会出身です)

小和田地区の皆さん、よろしくお願いいたします。

今年度の「市長と語る会」は1部で各部会の取組み報告を行い、2部では〈みんなの公園愛護会〉の梶田代表をゲストスピーカーとしてお迎えして「理想の公園とは」について話し合いました。

各部会の活動がこの報告内容に集約しておりますので、どんな活動をしているのか、確認して頂き興味のある部会に参加頂ければ幸いです。



←4月に誕生した
ピカピカの新米会長
雫石 剛(しずくいしつよし)さん
サクソがとってもお上手で、
7月に YU-ZU ルームで行われた
七夕祭りではバンド演奏
されていました♪



↑小和田地区まちぢから協議会ホームページ
発表に使用したスライドも掲載中！
ぜひアクセスしてみてください！

第1部 各部会からの発表

★交通安全部会(部会員 11名)

地域の皆で決めた「みちの愛称」、看板を見掛けたことはありませんか？小和田地区 5 つのエリア全てで行っていますので、ぜひ探してみてください！

また、自転車の左側通行啓発活動は月に一度、東小和田交差点で朝 7:30 から行っています。ご興味ある方は市民自治推進課までぜひご連絡ください。交通安全に関することって、やってみると楽しいこと、勉強になることがたくさんあります。お待ちしております！



発表者の大野さんと部会長川原さん



発表者の飯田さん

★広報部会(部会員 8名)

広報誌発行の変遷について発表がありました。飯田さんからは、「地域の活動・関係団体・すぐれた趣味を持つ方々等を掲載してきた広報誌ですが、地域の方々に受け止めていただいているのかしら？との複雑な思いでございました。

今回の総評の中で副市長から、「市で発行している広報紙も負けなように頑張らないと」のお言葉を頂き、広報部員としてありがたく頑張る力となりました。」と感想がありました。

★防災部会(部会員 9名)

安否確認、防災訓練などについて発表がありました。

「災害が起こる前に、皆さま今一度、消火器・備蓄品・感震ブレーカーの設置・防災用品等の確認をしていただき、日頃から近隣とのコミュニケーションも深めておきましょう！そして、より安心で、より安全な街であるために、地域全体で防災情報の共有と防災知識を向上させ、連携と推進をしまりましょう！引き続き、皆さまのご協力をお願いいたします！」

発表者の豊田さんからの心に響くお言葉でした。



発表者の豊田さん

★こわだみらい部会(部会員13名)

小和田・松林地区を一体と考え、赤羽根エリアに広がる田園風景を動画でご紹介。今後、市役所の1階でも流れるかも！？

発表した小林さんからは「気軽な気持ちで入ったみらい部会ですが、気づくと「市長と語る会」で発表者に(笑)。作成にあたり、大変なこともありましたが、市長や皆さまに直接話を聞いてもらえる機会、とても貴重でいい経験になりました。」というお声をいただきました。



発表者の小林さんと動画の一部



原稿を確認する発表者の落合さん

★社会福祉協議会(役員 14名)

社協からは「ふれあいサロン」について発表がありました。

発表者の落合さんからは「市長と語る会に、初めて参加させて頂きました。社協の発表者という大役をドキドキしながらも、何とか無事に終わらせる事ができました。ふれあいサロンについて、少しでもご理解頂けたら幸いです。」とのことでした！ぜひ足を運んでみてください！

★スペシャルゲストスピーカー 「みんなの公園愛護会」代表 椋田さん

皆さん、「公園愛護会」ってご存知ですか？地域に点在する公園を、皆が使いやすいように、大切にしてくれている団体です。この小和田地区にも「公園愛護会」があります。今回は、そんな公園愛護会をサポートする「みんなの公園愛護会」の椋田さんにお越しいただき、サポート事例をご紹介いただきました！詳細は、ぜひホームページをご覧ください。栗石会長も出てきますよ！

～椋田さんからも市長と語る会参加の感想をいただきました！～

様々な世代の地域住民の皆さんと市長や市の職員が、みんなで対話をするという素晴らしい場にご一緒する機会をいただき、ありがとうございました。小和田地区の皆さんの熱いエネルギーと、地域への深い愛情を感じました。明るい雰囲気、楽しく学びの多い時間でした。小和田地区の公園のこれからを私も楽しみにしています！



「みんなの公園愛護会」

LINE→

ぜひお友達に追加
してください！



第2部「理想の公園」とは？

私たちの住む小和田地区には、国土交通省から賞を頂くような素晴らしい公園や、子供達の願いを込めた素敵な公園等11カ所もの公園があります。そんな公園も、時代の流れと共に住環境や公園に関わる当事者も変わり理想を維持するのも難しい現実問題も…。

そこで皆様の思い描く理想の公園像や、みんなの公園愛護会の梶田さんよりご紹介いただいた、素晴らしい試みの三つの公園のお話を踏まえ、小和田地区の公園の未来を覗いてみました。

※ご紹介いただいた3つの公園(ぜひLINE登録していただき、詳細をご確認ください)

- 三先公園(大阪市)小学校全学年がローテーションで公園愛護活動に参加
- 黎明橋公園(東京都中央区)多世代で芝生を育てて地域交流
- 阿成北公園(姫路市)地域で公園のルール作り



【佐藤市長】

市長が思い描く理想の公園とは？



できるだけルールは少なく、自由に遊べる公園がいいに決まっている。

ただ、そうあるためには、公園に関わるみんながきちんと規律・ルールを守り、公園に対して当事者意識を持つことが一番いい形だと考える。



【塩崎副市長】

3か所の参考事例を聞いて心に留まった公園は？

三先公園で小学生が一緒になって公園の清掃に携わる活動は、地域のふれあいを生むきっかけともなり、大変いいことだと思う。よりよい公園にしていくために、取り組みの手法はその土地土地によって違うとは思いますが、共通して言えるのは、公園を愛護する立場の方だけでなく、利用する立場の方も一緒になって活動できることが一番いいのではないかと考える。

【岸副市長】

3か所の参考事例を聞いて心に留まった公園は？



阿成北公園が心に留まった。市長もおっしゃったと思うが、ルールはできるだけ少ないに越したことはないが、公園を実際に使う人が主となって考えていく機会を持つことが大事なのではないか。公園を利用するあらゆる立場の人たちが一緒になって決まり事を話し合っていければよりよいのではないか。

【小和田小学校こわだ会 運営委員長 大野さん】

保護者の立場として、思い描く理想の公園とは？



自分が小さかったころの公園は禁止事項もあまりなく、楽しい思い出がたくさんあるので、今の子供たちにもものびのび遊べる公園があったらいいと思う。もちろん、子供さえよければいいというのではなく、世代を超えてみんなで理想の公園を考えていきたい。

【まちぢから協議会 副会長 風岡さん】

公園の近隣自治会の会長の立場として、理想の公園とはどのようなものか？



阿成北公園のように近隣の自治会がルール作りやワークショップを開催し、YU-ZUルームとチャレンジパーク赤松公園を一体とし、地元の小学生とタイアップしてなにかできたらいいなと思う。子供達が愛護会活動を定期的に行うというのは、「自分たちの公園は自分たちできれいにする」という現れで、多世代が一緒になって活動を行えることが理想だと感じる。

【チャレンジパーク赤松公園愛護会 代表 新倉さん】

実際に公園愛護活動をする立場として、理想の公園はどのようなものか？



公園のルールが不要であるとは考えていない。ただそのようなルールを看板で示しても根本的には変わらない。互いに楽しく使えるような方法を考えることが地域で必要になってくると思う。

【司会進行：赤松町自治会 会長 三浦さん】(まとめ)



「公園」と簡単に言っても利用者と近隣住民との捉え方の差、また、遊ぶだけの場所ではなく防災へも強く関わる場所、そんな場で理想を追求しようとするとなかなか難しい問題も必ずついて回ります。しかし、私は市長と語る会を終えて小和田地区の公園の未来に安心しました。

なぜなら、これだけたくさんの方々の方が公園について真剣に考えていること、また当日は、休日にもかかわらず主題が公園のことだから！と市の公園緑地課の安彦課長補佐、姫野副主査がお忍びで会場にいらしたこと、こんな情熱的なみんなで作る公園の未来が明るくないわけがない！

今後は、今回いただいた意見やアイデアを地域にフィードバックし、小和田地区の公園の理想の姿とは？そして、それを実現するには何が必要か？まちぢから協議会でも知恵を出し合っていきたいと思えます。





(写真左)左から竹井課長補佐、三浦課長、寺島部長、岸副市長、塩崎副市長、佐藤市長 (写真右)参加された地域の皆さま



挨拶をされる佐藤市長、雫石会長、行政職員を紹介する三浦課長、竹井課長補佐、参加された地域の皆さま。たくさんの方の顔を拝見し、お話しを拝聴し、楽しいひとときでした。参加者の中には、プライベートでいらした公園緑地課の安彦課長補佐、姫野副主査の他に、県議会議員の永田てるじさん、市議会議員の新倉しんじさんもいらしてました。ありがとうございます！



日頃から、「まち協」を支えている皆さん。左から、島崎副会長(当日は欠席のため、他の写真を拝借)、風岡副会長、開催準備を取り仕切ってくださった下山さん、司会の川原さん、スライドを担当してくださった香山広報部会長。皆さまには当日の様子をお伝えしましたが、晴れ舞台を成功させるには、たくさんの事前準備がありました。心より感謝申し上げます。そして、お疲れさまでした！これからも皆で小和田地区を盛り上げていきましょう！ご興味ある方は、市民自治推進課、杉本さんまで(下記にてご紹介)ご連絡ください。お好きな部会にご参加いただけます。



令和5年度より小和田地区の担当になった市民自治推進課 杉本さんより

市長と語る会の開催にあたっては、地域が主体となり、企画からパワーポイントの作成まで入念に準備される姿が印象的でした。特に第2部では理想の公園について、それぞれの立場で、熱い意見が交わされました。地域愛に溢れる小和田地区を行政職員として、今後も全力サポートしていきたいです。

～編集後記～

あれは暑い夏休み。「発表と、広報誌も作って報告してくれるー?」「え??」雫石会長と私の会話です。幅広い年齢層を対象に作る広報誌?素人ですが…。改めて、普段広報誌を担当されている広報部会の皆さまをリスペクトいたします!そして、作成にあたりご協力いただいた発表者の皆さま、みらい部会の皆さま、三浦さん、杉本さん、今この編集後記を読んでくださっている全ての皆さまに感謝いたします。この広報誌が大好きな小和田地区の「まちぢから」をひろげる一助になりましたら幸いです。あー頑張った!今日のビールは格別♪ 貴重な機会をありがとうございました。(K・O)